

復興県民会議

〈発行〉東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

〒020-0015

盛岡市本町通2-1-36

浅沼ビル 5F いわて労連内

☎ 019-625-9191

FAX 019-654-5092

eメール fukkou_ikg@fukkoukaigi.jpn.org

No.27 (2016/2/15)

公共施設の整備着々・岩泉小本



東日本大震災・津波からまもなく丸5年を迎えます。今回は、被災した岩泉町小本地区の現状をレポートします。左の写真は、小本小中学校の全景です。校舎や体育館2棟、屋内プールが再建されました。岩泉町は、東京23区＋横浜市に匹敵する広大な面積で、沿岸部の小本地区が被災し13人が亡くなりました。震災後の復旧・復興は順調で、高台移転地には住宅建設がすすんでいます。災害公

営住宅は、岩泉街中と小本地区に建設され入居が完了しましたが、仮設住宅にはまだ11世帯が住んでいます。三鉄岩泉小本駅には、町の小本防災センターが3F建てで新築され12月28日にオープン。防災センターは、会議室や一時避難所、診療室、シャワールームなどが備わり、町の出張所、切符売場、売店が併設され、駅ホームに直結しています。小本漁港近くの高台にあった小中学校は津波で浸水しましたが、小本駅近くに移転新築し、維持管理費が心配されるほどの立派なものが建ちました。この4月から新校舎に子どもたちの声が響くことになります。



鮭の不漁、後継者不足は深刻

小本浜漁協の幹部は言います。「8割ぐらいまで復旧したが、今シーズンは定置網(鮭)の不漁で参った。後継者不足も他と同様に深刻だ」「定置網の従業員が不足している。賃金の高い方に行ってしまう」と。津波の犠牲になった組合員は3人。さらに、震災前に比べて組合員は1割減るなど高齢化の影響が出ています。漁協経営を支える定置網漁の安定化、ウニ、アワビ、漁船漁業、養殖など後継者育成を含めた振興策をどうするか悩ましい課題です。(復興 宮古・下閉伊住民会議準備会世話人・事務局 前川昌人)

今後の予定

3月2日(水) 第2回代表世話人会 13時半～ いわて労連会議室
3月11日(金) 祈りの灯火2016 15時半～ 盛岡歴史文化館前
3月12日(土) 5年のつどい 13時～ 宮古市民文化会館

復興闘争を全力支援!

全国災対連第17回総会を東京で開催



来賓挨拶する堀内照文議員（右から2番目）、大平喜信議員（右端）

災害被災者支援と災害対策改善を求める全国連絡会（全国災対連）の第17回総会が2月12日（金）衆議院第2議員会館で開催されました。岩手から金野のほか、宮城、福島、広島、兵庫の地方組織と全労連、新婦人、全商連、保団連など中央団体から40名程が参加しました。

午前中は、復興庁から2016年度の概算決定額について説明を受け、懇談しました。復興庁の前田企画官は、「この5年間は集中復興期間として25.5兆円を投入し、インフラ整備を中心にやってきた。これから5年間は復興・創生期間となる。2016年度予算は2兆4055億円で、ほぼ要求通りだ」と述べました。内訳は、

①長期避難者の心のケアやコミュニティの形成、②住宅再建・復興まちづくり、③産業・生業の再生、④原子力災害からの復興・再生など各テーマ毎に補助金・交付金・事業費等を計上していますが、その具体化は主として地方自治体に委ねられることから、その予算を生かして被災者に寄り添った、きめ細やかな施策が県や市町村に求められます。「自営の零細事業者に対する支援が欲しい」、「生活再建支援金を500万円に引き上げて欲しい」「被災者の医療費無料制度を国の責任で復活して欲しい」などの要望が参加者から出されました。復興庁の前田企画官は、「皆様のご要望は復興庁としても受けとめ各省庁にも伝える。予算確保は今後とも努力する」などと答えました。

午後は、総会が開かれ、日本共産党の堀内照文・大平喜信両衆議院議員が来賓として駆けつけました。議案は、被災者本位の復興支援の強化と防災・減災政策の抜本的改善、組織の強化拡大などの運動方針と決算・予算、役員体制が拍手で承認されました。今後の取り組みの柱として、①生活再建支援金の拡充を求める新署名を5月までに10万筆を目標に取り組むこと、②5月11日（水）に被災地組織を中心にして、国会総行動を実施すること、③災対連の全国交流集会を11月4日（金）～5日（土）福島県いわき市「いわき新舞子ハイツ」で開催することなどが確認されました。

5年のつどいを宮古で開きます

東日本大震災津波5年のつどいを3月12日（土）午後1時から宮古市民文化会館中ホールで開催いたします。記念講演は斉藤徳美岩手大学名誉教授（県復興委員会総合企画専門委員会委員長）が復興の現状と課題についてお話しします。シンポジウムは斉藤信県会議員がコーディネーターとなって、各分野から報告や問題提起をして頂きます。オープニングは地元の宮古水産高等学校太鼓部の演奏です。盛岡から貸し切りバスを用意します。被災地見学も組み入れました。昼食は道の駅「シートピアなあど」の予定です。